Ｑ４．助成制度への要望、あるいはドライブレコーダの改善要望、今後開発が期待される機器や機能などについて、自由にご記入ください。

 （例：もっと低価格な機器、小さな機器　など）

◆機器を搭載している貴社の車両について◆

①運行形態 (主な導入機器搭載車両を年間平均した場合のおおよその比率で結構です。)

・長距離輸送　　 　　　　　　割

・地場輸送 　　 　　　割

②乗務形態

・固定制（車両に対して担当運転者が決まっている）　　　　　　 　　　　　割

・交替制（　　　　　〃　　　　　決まっていない）　 　　　　　　　　　　割

◆映像提供の可否

①事故・ヒヤリハット等の映像　　　　（　）保存している　（　）保存していない

②事故・ヒヤリハット等の映像の提供※ （　）可　　　　　　（　）不可

※全日本トラック協会では、事業所における運転者の危険予知訓練（ＫＹＴ）に活用いただくために、ドライブレコーダの映像を収録した『ＷＥＢ版ヒヤリハット集』を制作し、平成２４年１０月より、ホームページ上で公開しております。今後、より多くの皆様に活用いただけるよう、多種多様な状況におけるヒヤリハット事例を充実させる予定です。

つきましては、ヒヤリハット映像の提供にご協力ください。

　なお、ご提供いただいた映像は、当協会が選別し、会社名、個人等が特定されないよう編集した上で公開いたします。

ご協力ありがとうございました。

ドライブレコーダの導入効果等に関する調査票

公益社団法人全日本トラック協会

（公社）全日本トラック協会及び各都道府県トラック協会では、事故防止対策の一環として、ドライブレコーダの助成事業を実施しています。

また、この一環として、平成２６年度にこの制度を活用し、機器を導入された事業者の方々に対して、導入効果等について調査し、さらなる普及方策や助成制度の検討等に活用することとしています。

つきましては、本調査にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

各質問項目の該当する箇所にチェック（✓）をつけ、必要事項を〔　〕にご記入ください。

調査票は、所属の都道府県トラック協会にFAXまたは電子メールにてお送りください。

記入日：平成　　年　　月　　日

◆貴事業所の情報◆

①会社名

②事業所名

③保有車両数 車両総重量８ｔ以上 　台　　８ｔ未満　　　　　　台

（うち当該事業所 車両総重量８ｔ以上 　台　　８ｔ未満　　　　　　台）

④回答者の所属及び氏名

⑤電話番号 　 　 　　-　 　　　　-

⑥電子メールアドレス 　　　　　　　　 　　 　@ 　　　　　　 　　　　　　　　　 　（任意）

本調査で得た情報は、機器の普及、助成制度の検討及び安全対策の推進のために活用します。また、回答結果を会社名等で個別に公表することはありませんが、統計処理して公表する場合があります。

**◆調査内容に関するお問い合わせ先 : 公益社団法人全日本トラック協会**

 **交通・環境部　（電話）03-5323-7243**

**◆調査票の送付先 ： （公社）沖縄県トラック協会**

 **ＴＥＬ：　０９８－８６３－０２８０**

**ＦＡＸ：　０９８－８６３－３５９１**

◆導入したドライブレコーダについて◆

Ｑ１．現在ご使用のドライブレコーダの導入状況等について

■ ドライブレコーダ■

**事業所全体の導入状況**

導入機器台数　車両総重量８ｔ以上　　　　　台　　８ｔ未満　　　　　台

導入時期（最初）　平成　　　　　年　　　　　月

（　）全車に導入

（　）一部車両に導入

**今回（平成２４年度）の導入について**

**〔**分類　　（　）簡易型　　（　）標準型　　 （　）運行管理連携型　　（　）スマートフォン活用型　**〕**

**メーカー名**

**製品名 　　　　　　 　 〔型式** 　　　　　　　　　　　　　　**〕**

（　）事業所として初めて　**〔**　　　　　台**〕**

（　）追加導入　　　　　　**〔**　　　　　台**〕**

（　）代替導入　　　　　　**〔**　　　　　台**〕**

**導入目的/理由** （該当するもの全て選択）

（　）交通事故防止

（　）安全運転指導

（　）運転状況の監視･確認

（　）事故処理の効率化

（　）運転日報の作成等運行（安全）管理事務の効率化

（　）燃費改善（省エネ運転指導）

（　）荷主等からの要請

（　）会社のイメージアップ

（　）助成制度の機会活用

（　）その他

**デジタコの導入状況**

（　）全車に導入

（　）一部車両に導入

（　）未導入　（ドライブレコーダのみ)

Ｑ2．現在ご使用しているドライブレコーダの活用状況及び効果について

■ 活用状況 （該当するもの全て選択） ■

（　）ほぼ運行ごとに映像等を確認、指導

（　）定期的**〔**　　　　　　日・週・月毎**〕**に映像等を確認、指導

（　）事故等が発生したときのみ映像を確認、指導

（　）ヒヤリハット等問題のある映像を集め、指導あるいは講習会等を開催

（　）運転日報作成に活用

（　）ほとんど活用していない**〔**理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**〕**

（　）その他

■ ドライブレコーダの導入効果　（該当するもの全て選択） ■

（　）事故（第１当事者）が減った

　　　 導入前（月平均およそ）　　.　　件　　　　　　導入後（月平均およそ）　　．　件

（　）もともと事故はない

（　）安全運転指導に活用できた

（　）運転者の安全意識が高まった（危険運転減少）

（　）事故処理に役立った

（　）運転日報作成等事務が効率化した

（　）燃費が改善した**〔**改善率 平均　　．　％**〕**

（　）会社のイメージアップが図れた

（　）その他効果（できるだけ具体的に）



（　）導入前と変わらない（効果なし）　　考えられる理由



Ｑ３．現在ご使用しているドライブレコーダの問題点について

■ 製品等の問題点 （該当するもの全て選択） ■

（　）機能が多く、使い方が難しい

（　）導入価格が高い

（　）通信費、メモリカード等維持費が高い

（　）ドライブレコーダが場所をとる

（　）映像が不鮮明**〔**信号、逆光、夜間、その他（　　）**〕**←該当するもの全てに○を付ける

（　）データ読み込みに時間かかる

（　）無駄な映像が多く、必要な情報を見つけるのに時間がかかる

（　）データがとれないことがある

（　）故障が多い**〔**具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　**〕**

（　）その他 （具体的に）



■ 使用上での問題点 （該当するもの全て選択） ■

（　）機器の使用方法説明、修理等の販売店のフォローが不十分

（　）データ管理のための業務負担増

（　）工場等への（カメラ付）車両の立ち入りが制限される

（　）収集したヒヤリハット等の映像データの活用法がわからない

（　）ドラレコを用いた運転管理等について運転者の理解が得られない

（　）車内の映像や音声も記録したいが運転者の理解が得られない

（　）その他 （具体的に）

